

Groove 2007

ワークスペース・バックアップ Ver2.1 インストール・ガイド

Ver1.000
Aug 13, 2010



株式会社 ユニマインド・テクノロジー

はじめに

ワークスペース・バックアップは、Microsoft Office Groove 2007のワークスペースを圧縮されたアーカイブファイル (.gsa)としてローカルファイルとして保存し、オペレーションミスや予期せぬPCのトラブルによる共有データ損失への備えとしてご利用いただけます。ユーザは、本ソフトにより保存したアーカイブファイルから、Groove 2007内にいつでもワークスペースを復元することができます。

本書は、ワークスペース・バックアップのインストール手順、ワークスペースのアーカイブ、そして復元の方法を説明しています。バックアップ作業を始められる前に、必ずお読みください。

本書の各説明は、Windows Vistaでの操作を前提に記述してあります。Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008などのOSをご利用されている場合、適宜読替えていただけますようお願いいたします。

なお、本ソフトウェアをインストールした直後は「評価版」として動作します。評価版では、一括バックアップ設定でバックアップ可能なワークスペース数が3つまでに制限されます。この機能制限を解除し製品版としてご利用になるには、ユーザライセンスのご購入と弊社から発給するプロダクトキーの設定が必要となります。詳細は「9、評価版から製品版へ移行して機能制限を解除するには」をご参照ください。

※著作権について： 株式会社ユニマインド・テクノロジーの事前の書面による承諾を得ることなしに、いかなる形式または手段（電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動、またはその他の形式・手段を含む）をもっても、本書の全部または一部を、複製、転用、複写、検索システムへの記録、任意の言語やコンピュータ言語への変換などを行うことはできません。

※免責事項： 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。株式会社ユニマインド・テクノロジーは、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。株式会社ユニマインド・テクノロジーは、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

※Microsoft、Microsoftロゴ、Office Groove 2007は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

1、ワークスペース・バックアップについて	3
2、インストールを始める前に	4
3、Ver2.0からのアップデートについて	5
4、インストールしよう	6
5、プログラムを起動しよう	9
6、特定のワークスペースを今すぐバックアップしてみよう	11
7、スケジュールを設定して複数のワークスペースを一括バックアップしよう	14
8、ワークスペースを復元するには	17
9、評価版から製品版に移行して機能制限を解除するには	18
10、Windows起動と共に自動起動するには	19
11、ログの操作について	20
12、プログラムをアンインストールするには	21

動作条件

- ◎コンピュータおよびプロセッサ： 500 MHz 以上のプロセッサ
- ◎メモリ： 512 MB 以上の RAM
- ◎ハード ディスク： 1 GB以上
- ◎ドライブ： CD-ROM または DVD ドライブ
- ◎ディスプレイ： 1024 x 768 以上の解像度のモニター
- ◎オペレーティング システム： Microsoft Windows XP / Windows 2003 Server / Windows Vista / Windows Server 2008
- ◎その他のコンポーネント：
 - ・Micorosft Office Groove 2007
 - ・Internet Explorer 6.0 以降の 32 ビット ブラウザ
 - ・インターネット アクセス (有料の場合もあります) が必要

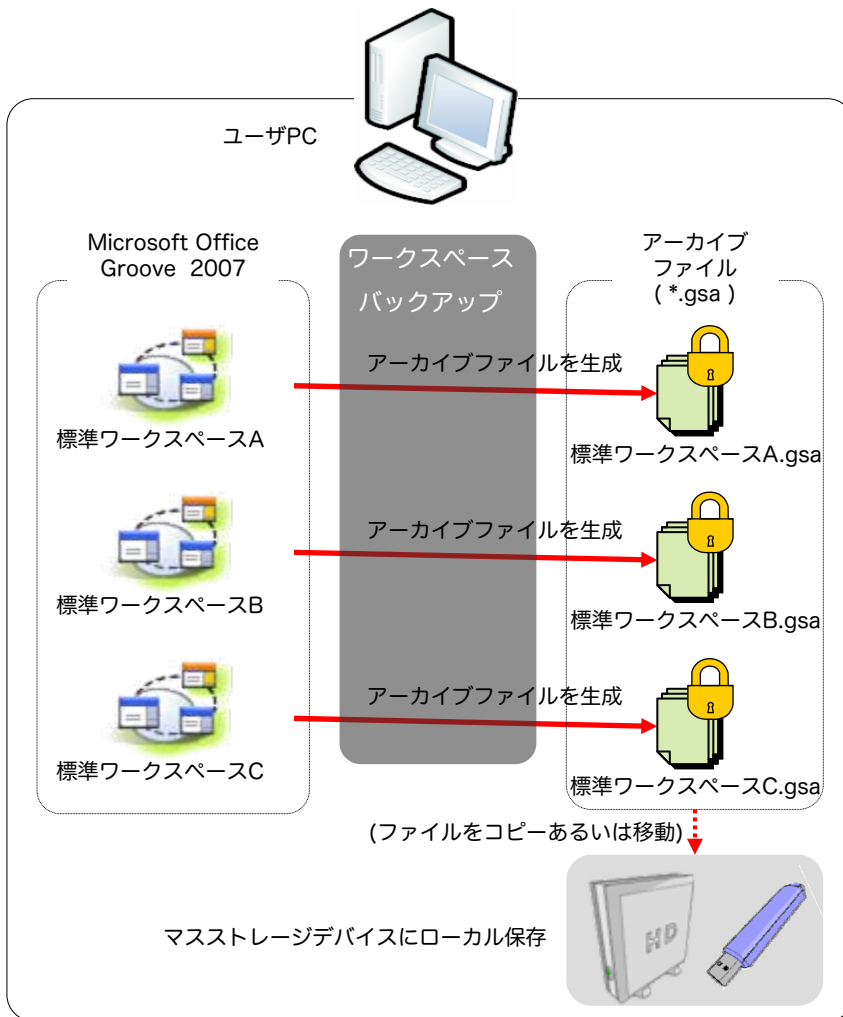
1、ワークスペース・バックアップについて

ワークスペース・バックアップは、Microsoft Office Groove 2007の標準ワークスペースを、アーカイブファイル (.gsa) として保存します。

ユーザは、保存されたアーカイブファイルをクリックすることにより、Groove 2007にバックアップしたワークスペースとは別個に複製ワークスペースとして復元することができます。

アーカイブファイルでは、ワークスペースの次の内容が保持されます。

- ・ ツールのコレクションとカスタム ツール名
- ・ ワークスペース名
- ・ 全ツールのコンテンツ
- ・ ワークスペースのメンバのリスト



注意！

ファイル共有ワークスペースは、アーカイブとして保存することはできません。

注意！

アーカイブからワークスペースを復元すると、復元を実行しているメンバ以外のすべてのメンバが“利用停止”と示されます。それらのメンバは必要に応じて後から再招待することができます。

2、インストールを始める前に

◆ 本ソフトウェアをインストールしようとするPC について、次の事項をご確認ください。

- ・本書冒頭に記載した「動作条件」の総ての条件に適合していること。
- ・インストール作業を行おうとするWindowsユーザの権限が、管理者（Administrator）であること。
- ・ハードディスクに、バックアップしようとするワークスペースの総容量と同容量以上の空きスペースがあること。
- ・Microsoft Office Groove 2007が正しくインストールされ動作すること。

◆ バックアップ可能なGroove 2007の稼働条件、ワークスペース条件は、次のとおりです。

- ・ Microsoft Office Groove 2007とのみ連携して動作します。
Groove 2007以前のバージョンでは動作しませんので、ご注意ください。
- ・ Groove 2007が正しく動作している必要があります。
バックアップ実行時には、Groove 2007が起動し、ユーザログインされている必要があります。
- ・ バックアップ可能なワークスペースは、Groove 2007標準ワークスペースのみとなります。
- ・ 次のようなワークスペースは、バックアップできません。
Groove 2007ファイル共有ワークスペース、テンプレート
Groove 2007以前のバージョンで生成されたワークスペース
Groove 2007以前のバージョンで開発されたカスタムツールが含まれているワークスペース
Groove 2007でアーカイブ不可能なワークスペース
- ・ Groove 2007の動作状態により、バックアップ処理が正常に終了しないワークスペースが発生することがあります。
【原因】 Groove 2007は、内部に実装された独自のデータベースを用いて、各種情報をリアルタイムに更新しています。このため、本ソフトウェアの実行プロセスからGroove 2007 APIを介してワークスペースのアーカイブ実行命令をGroove 2007のプロセスに発行しても、Groove 2007側でアーカイブ実行できずFailとして本ソフトウェアのプロセスに返答する場合があるからです。
【対策】 一旦Groove 2007を再起動することにより、本ソフトウェアでバックアップ可能となる場合があります。

◆ 本ソフトウェアをご利用になる場合、次の操作は避けてください。

- ・ 本プログラムでのバックアップ実行中、
プログラムの終了やPCをシャットダウンしないでください。
Groove 2007でアーカイブを実行しないでください。
- ・ Groove 2007でのアーカイブ実行中、本プログラムでバックアップを実行しないでください。

◆ 本ソフトウェアでは、下のWindowsフォルダ、レジストリを使用します。

- ・ フォルダ
プログラムファイル：
インストールウィザードで指定したフォルダ
初期状態 C:\Program Files\Uni-Mind-Tech\Groove Workspace Backup Ver.2.1
設定ファイル：
C:\Documents and Settings\%(UserName)\Local Settings\Application Data\Uni-Mind-Tech
- ・ レジストリ
Windows起動時の自動起動設定

HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Run\GWSArchiver
ユーザID情報
HKEY_CURRENT_USER\Software\Uni-Mind-Tech\Groove Workspace Backup

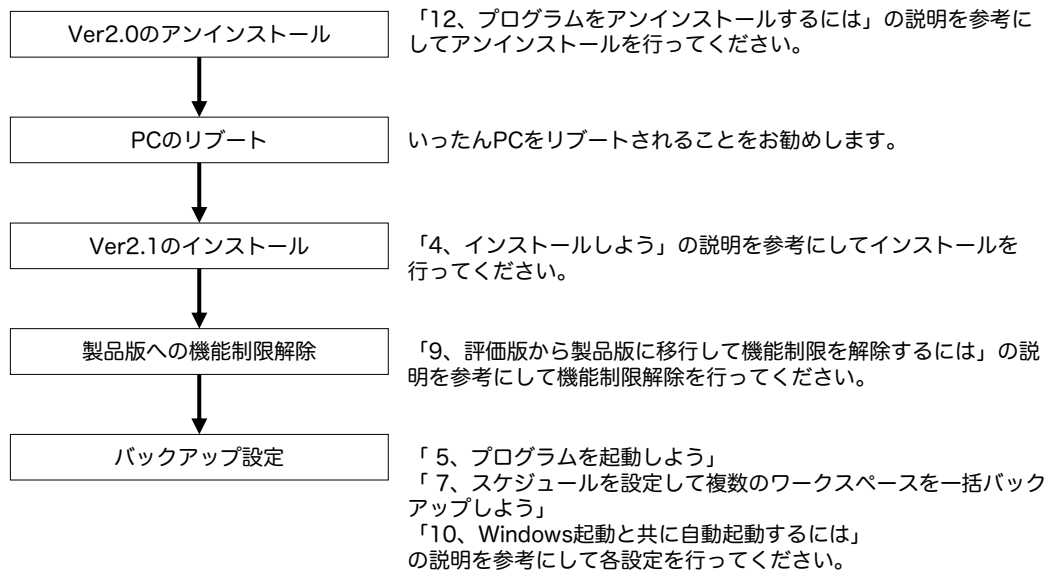
3、Ver2.0からのアップデートについて

◆Ver2.1では一括バックアップの機能を強化し、さらにきめ細くスケジュールバックアップが設定できるようになりました。

◆ Ver2.0からVer2.1へアップデートする場合には、一旦Ver2.0をPCから削除した後、Ver2.1を新規にインストールする必要があります。

◆また機能制限の解除のため、改めて新規のプロダクトキーを設定する必要があります。

◆アップデートのフローは、下のようになります。



4、インストールしよう

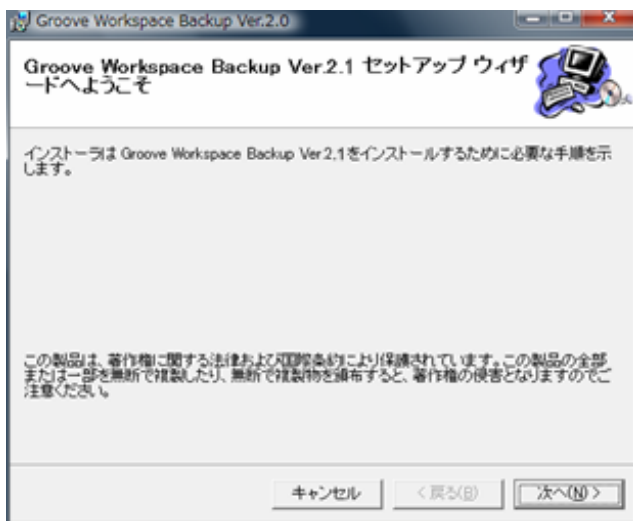
本ソフトウェアをインストールするには、インストーラが必要です。弊社Webサイトからダウンロードするか、弊社までインストールCDROMの送付を依頼し入手してください。

・ダウンロードサイトURL：<http://www.uni-mind.co.jp/Groove/groove2007WorkspaceBackup.html>

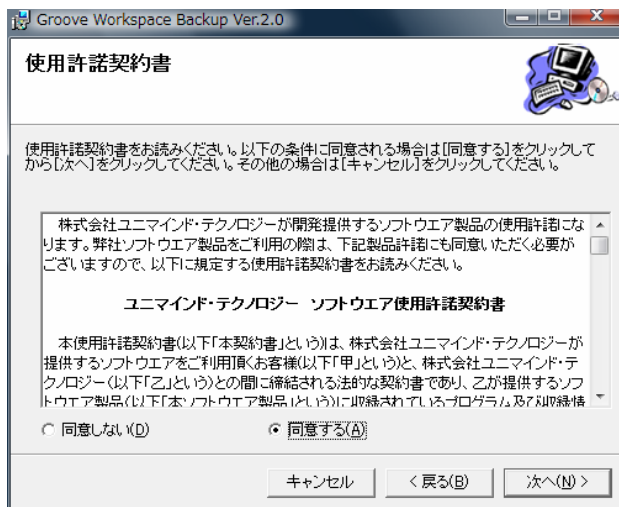
インストールを開始するには「setup.exe」を実行します。



セットアップウィザードが表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。

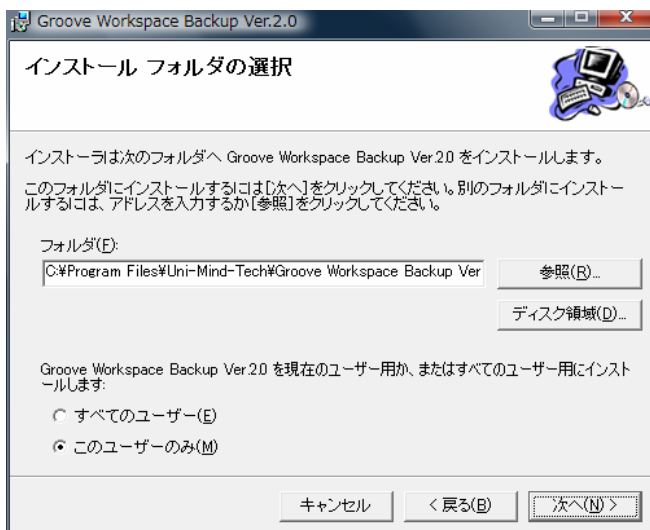


使用許諾契約書が表示されます。内容をご確認いただき御同意いただける場合のみ本ソフトウェアをご利用いただけます。ご同意いただける場合、「同意する」を選び「次へ」ボタンをクリックします。

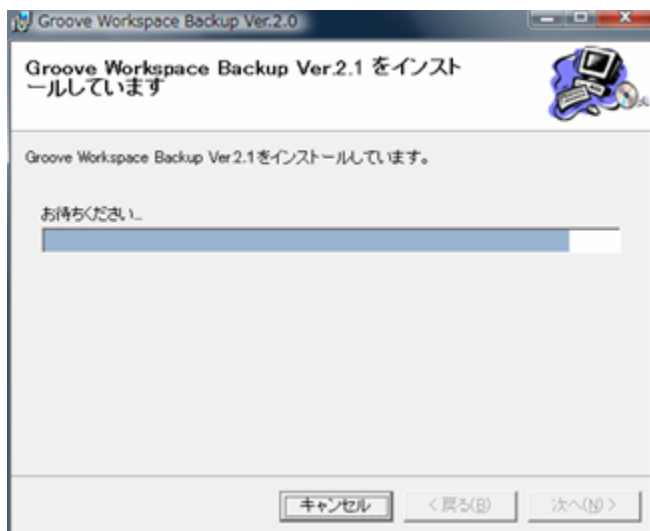


本プログラムをインストールするフォルダを選択します。デフォルトではCドライブのProgramFilesフォルダ以下にインストールされます（通常このままでインストールする事をお勧めします）。

本ソフトウェアを利用するユーザを選択します（通常「このユーザのみ」でご利用下さい）。



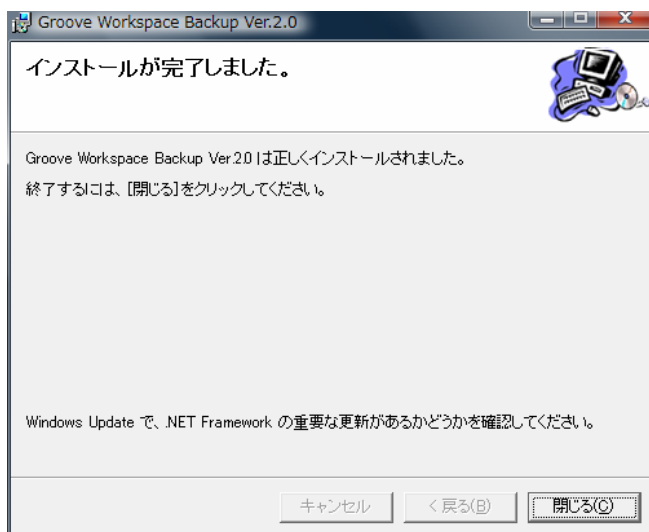
インストールの準備が整いました。「次へ」ボタンをクリックしてインストールを開始します。



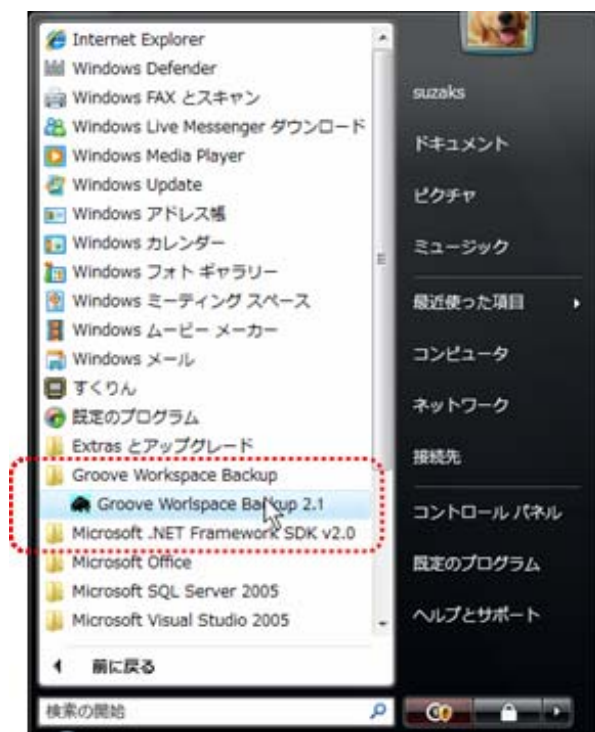
注意！

Windowsを複数のユーザで共用している場合にご留意いただきたい事項：本ソフトウェアは、複数のWindowsユーザでのご利用が可能です。各ユーザ毎にライセンスが必要になります。また、Groove2007は、複数のWindowsユーザでの動作に難があります。Groove 2007、本ソフトウェアは、1 Windows1ユーザでのご利用が現実的です。

インストールが完了します。「閉じる」ボタンをクリックして、インストール作業を終了します。

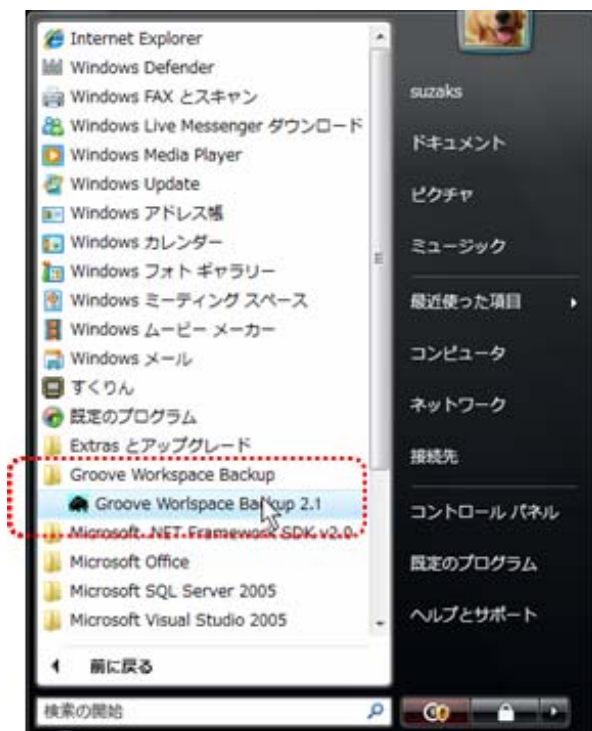


スタートメニューに「Groove Workspace Backup 2.1」のメニューが生成されます。確認しましょう。




5、プログラムを起動しよう

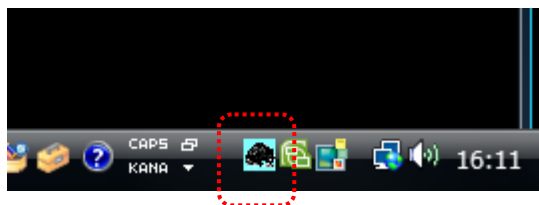
本ソフトウェアを起動する場合、スタートメニューの「Groove Workspace Backup 2.1」をクリックします。




注意！

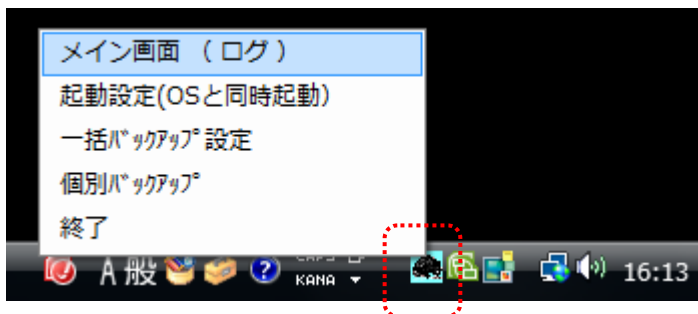
本プログラムを実行する際には、Groove 2007が起動されユーザがログインしている必要があります。

本ソフトウェアが起動すると、タスクトレイにアイコン が表示され、Windowsサービスとして常駐します。

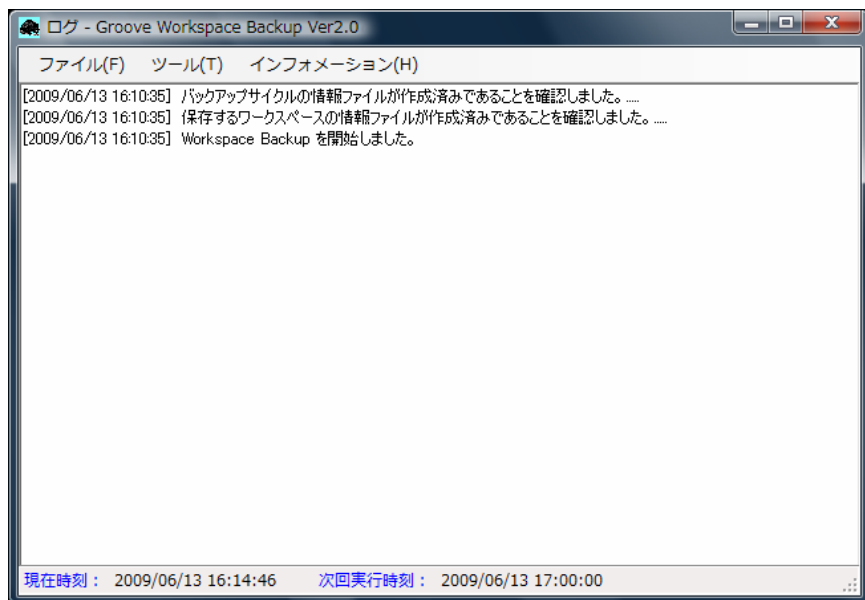


タスクトレイの アイコンの上で右クリックすると、メニューが表示され、バックアップの設定や実行、各種設定を行うことができます。

最初に、「メイン画面（ログ）」を選択します。



「ログ」ウインドが表示されます。このウインドウが本ソフトウェアでのメイン画面となります。上段のメニューから、バックアップ設定やバックアップ実行を指定する事ができます。その下の表示エリアには、本ソフトウェアの実行で発生する処理イベントが記録表示されます。



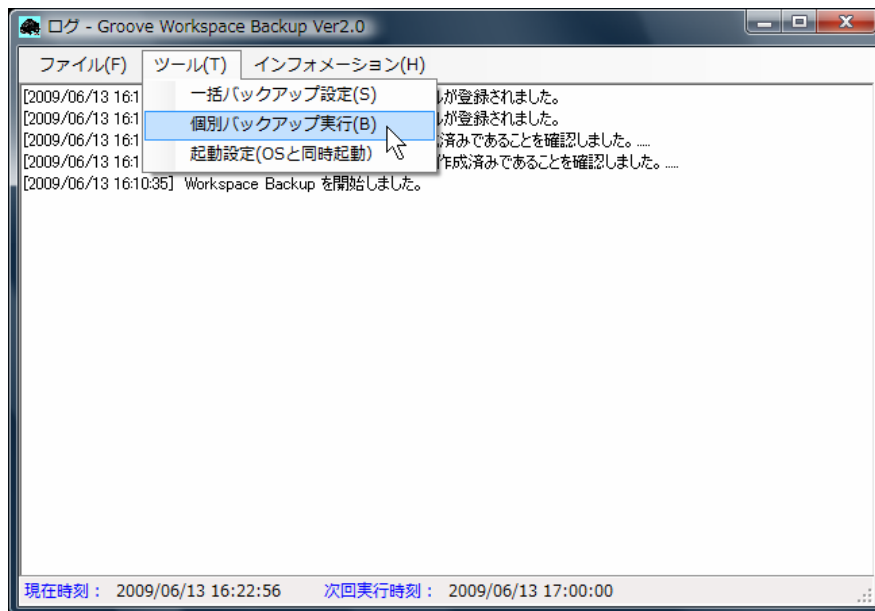
注意！

個別バックアップ実行時の処理イベントは、ログウインドウに記録表示されませんので、ご注意ください。


6、特定のワークスペースを今すぐバックアップしてみよう

お使いのGroove 2007のワークスペースのうち1つのワークスペースを選び、直ちにバックアップすることができます。

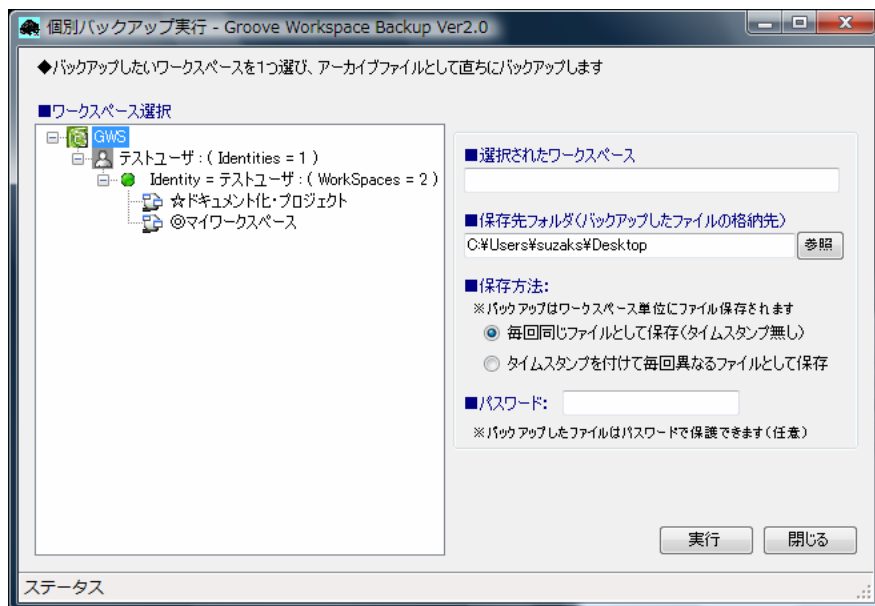
ログウィンドウの「ツール」から「個別バックアップ実行」を選びます。



注意！

タスクトレイの  アイコンのメニューの「個別バックアップ」を選択しても「個別バックアップ実行」ウィンドウを開くことができます。

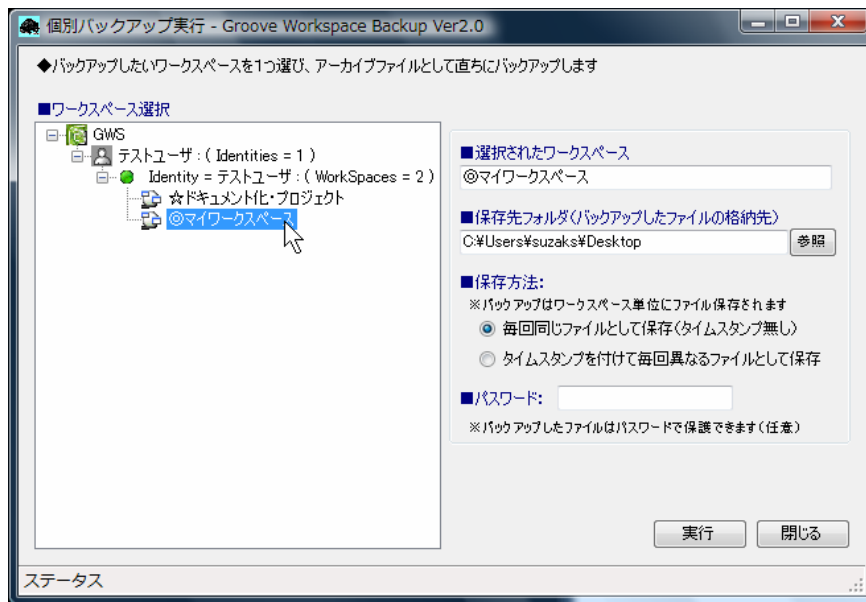
暫くすると新たに「個別バックアップ実行」ウィンドウが表示されます。お使いのGroove 2007の総てのワークスペースが、Grooveアカウント情報と共に「ワークスペース選択」エリアにツリー表示されます。



注意！

個別バックアップ実行ウィンドウが呼び出される際には、Groove 2007からユーザアカウントやワークスペースなどの情報を取得します。このためGroove 2007にたくさんのワークスペースが設定されている場合、「個別バックアップ実行」ウィンドウが表示されるまで、時間がかかることがあります。

「ワークスペース選択」で表示されているワークスペースの名前をクリックして、バックアップするワークスペースをひとつ選択します。



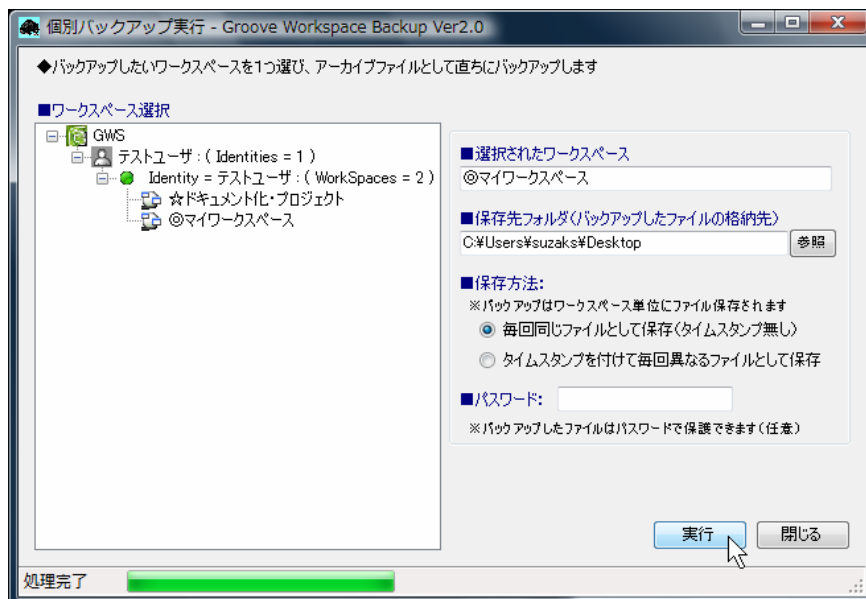
「選択されたワークスペース」欄には選択されたワークスペース名が設定されます。

「保存先フォルダ」には、生成されるアーカイブファイルを格納するフォルダパスを設定します。

「保存方法」では、
・実行の都度同じファイル名（「ワークスペース名.gsa」）で上書き保存する
・実行時のタイムスタンプを付加したファイル名（「YYYYMMDDhhmmss_ワークスペース名.gsa」）で毎回異なるファイルとして保存する（YYYYMMDDhhmmssは実行時の年月日時分秒）。
が選択できます。

「パスワード」では、生成するアーカイブファイルに任意のパスワードを付加することができます。これは、生成されたアーカイブファイルが第三者からクリックされ、Groove 2007上に不用意に復元されることを防ぐためのものです。

以上の設定が終わったら、「実行」ボタンをクリックします。
ただちに、選択したワークスペースのアーカイブファイルの生成が開始されます。
ウィンドウ下段には処理状況が表示され、進捗が把握できます。

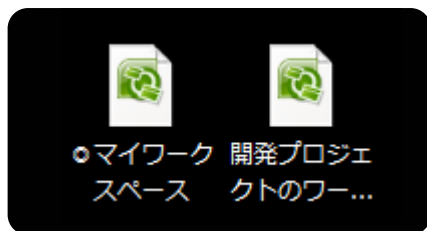


注意！

個別バックアップ実行時の処理イベントは、ログウィンドウに記録表示されませんので、ご注意ください。

ウインドウ下段に「処理完了」が表示され、プログレスバーがすべて緑色に表示されたら、バックアップは完了です。

「保存先フォルダ」欄で指定したフォルダパスの下に、アーカイブファイルが生成されていることを確認しましょう。



以上で、「個別バックアップ実行」は完了です。

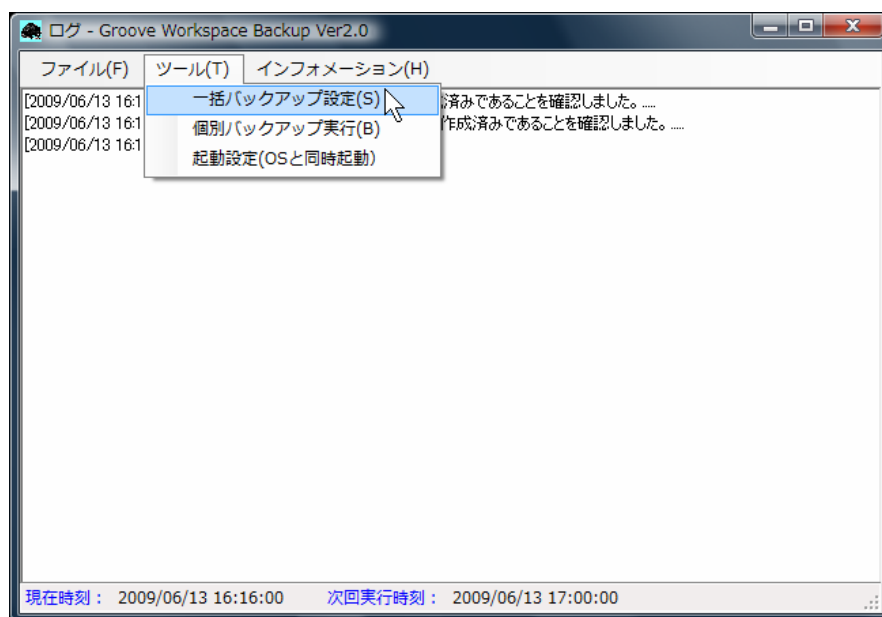
注意！

Groove 2007以前のバージョンで生成されたワークスペースや、Groove 2007以前のバージョンで開発されたツールが含まれているワークスペースは、本ソフトウェアでバックアップ（アーカイブファイル生成）できない場合がありますので、ご注意ください。


7、スケジュールを設定して複数のワークスペースを一括バックアップしよう

お使いのGroove 2007の任意のワークスペースを複数選んで、設定したスケジュールで定期的に一括バックアップすることができます。

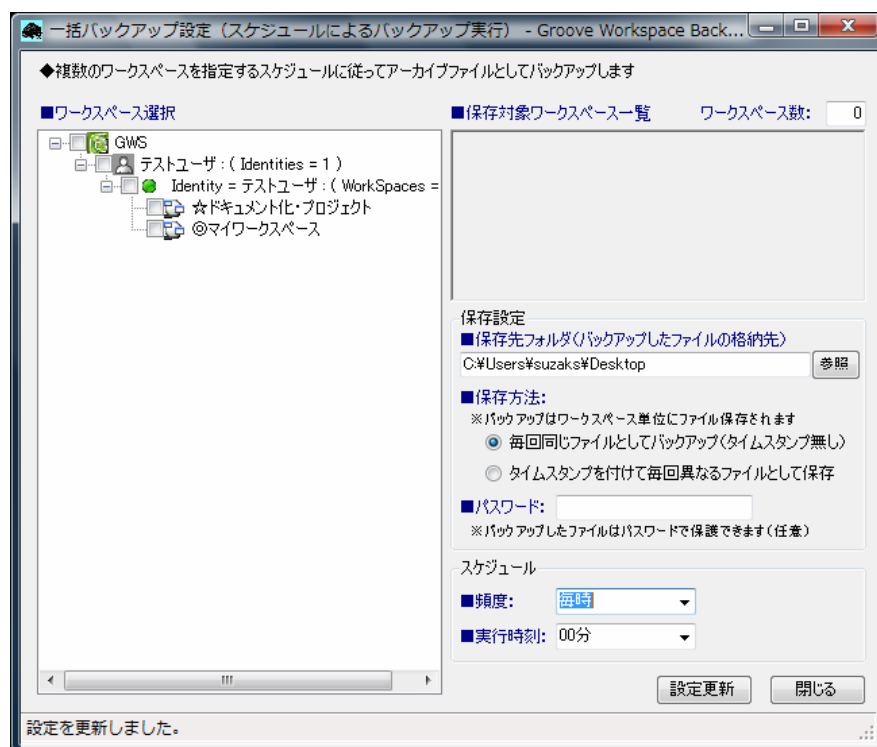
ログウィンドウの「ツール」から「一括バックアップ設定」を選びます。



注意！

タスクトレイの  アイコンのメニューの「一括バックアップ設定」を選択しても「一括バックアップ設定」ウィンドウを開くことができます。

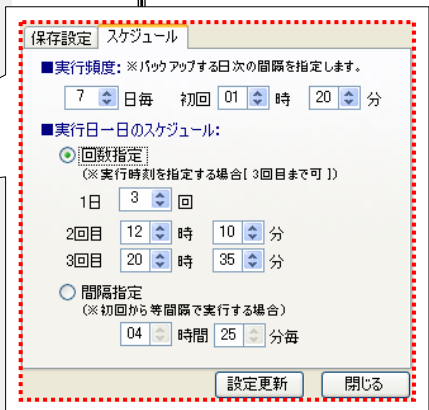
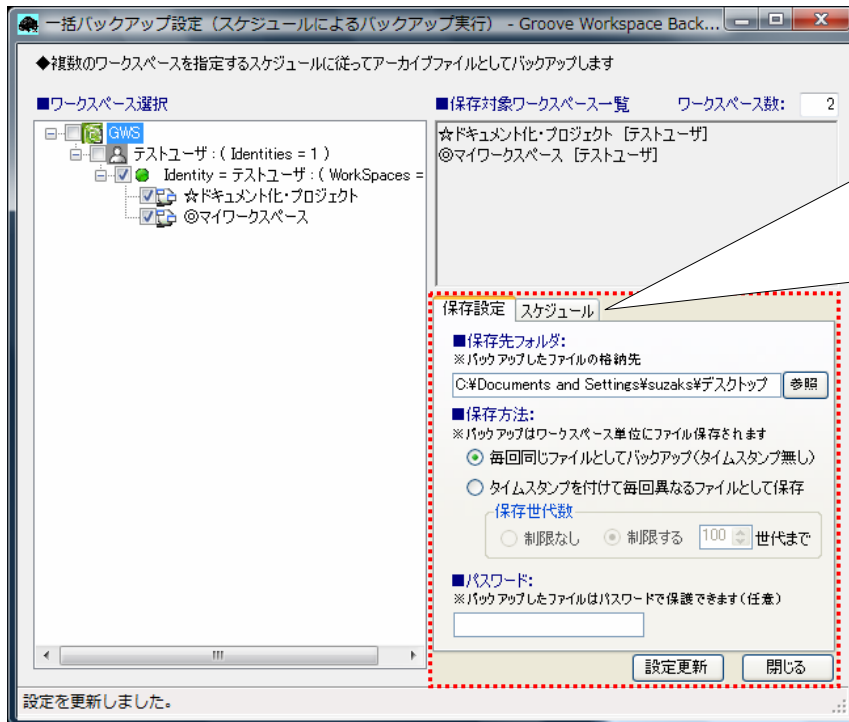
暫くすると新たに「一括バックアップ設定」ウィンドウが表示されます。お使いのGroove 2007の全てのワークスペースが、Grooveアカウント情報と共に「ワークスペース選択」エリアにツリー表示されます。



注意！

一括バックアップ設定ウィンドウが呼び出される際には、Groove 2007からユーザアカウントやワークスペースなどの情報を取得します。このためGroove 2007にたくさんのワークスペースが設定されている場合、「個別バックアップ実行」ウィンドウが表示されるまで、時間がかかることがあります。

「ワークスペース選択」で表示されているチェックボックスをチェックし、バックアップしたいワークスペースを選択します。



「設定更新」ボタンをクリックすると「保存対象ワークスペース一覧」欄に、チェックして選択したワークスペース名が反映され、「ワークスペース数」欄に選択したワークスペース数がカウントされます。

「保存先フォルダ」には、生成されるアーカイブファイルを格納するフォルダパスを設定します。

「保存設定」タブでは、

- ・実行の都度同じファイル名（「ワークスペース名.gsa」）で上書き保存する
- ・実行時のタイムスタンプを付加したファイル名（「YYYYMMDDhhmmss_ワークスペース名.gsa」）で毎回異なるファイルとして保存する（YYYYMMDDhhmmssは実行時の年月日時分秒）。が選択できます。


「パスワード」では、生成するアーカイブファイルに任意のパスワードを付加することができます。これは、生成されたアーカイブファイルが第三者からクリックされ、Groove 2007上に不用意に復元されることを防ぐためのものです。

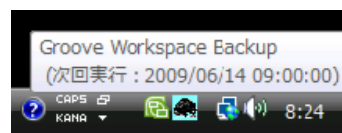
「スケジュール」タブでは、バックアップの「実行頻度」「実行日のスケジュール」を指定します。

以上の設定が終わったら、「設定更新」ボタンをクリックし、適宜「閉じる」ボタンを押してウィンドウを閉じてください。

これで、スケジュールによる一括バックアップ設定が完了しました。あとは、設定したスケジュールで選択したワークスペースがバックアップされるのを待つだけです。

バックアップ実行予定日時は、

- ・タスクバーの  アイコンの上にマウスポインタを置き表示されるバールーン
- ・ログウィンドウの下段のステータスバー



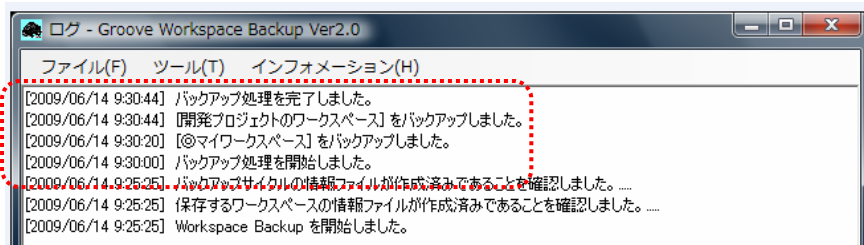
で確認することができます。

注意！

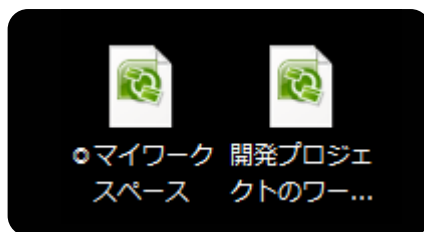
評価版では、バックアップ可能なワークスペース数が、3つまでに制限されます。ユーザライセンスをご購入いただき、弊社より発給されるプロダクトキーを設定し製品版に移行しますと、この制限が解除されます。詳しくは「8、評価版から製品版へ移行して機能制限を解除するには」を参照して下さい。

「一括バックアップ設定」ウインドウの「スケジュール」欄で指定した「頻度」「実行時刻」に従ってバックアップが開始されます。

バックアップの実行結果は、ログウインドウで確認できます。



「保存先フォルダ」欄で指定したフォルダパスの下に、指定した全てのワークスペースのアーカイブファイルが生成されていることを確認しましょう。



以上で、一括バックアップは、完了です。

注意！

Groove 2007以前のバージョンで生成されたワークスペースや、Groove 2007以前のバージョンで開発されたツールが含まれているワークスペースは、本ソフトウェアでバックアップ（アーカイブファイル生成）できない場合がありますので、ご注意ください。

8、ワークスペースを復元するには

本ソフトウェアの「個別バックアップ実行」「一括バックアップ設定」の両ウィンドウで生成したワークスペースのアーカイブファイルは、本プログラムの介在なしにワークスペースとして復元することができます。

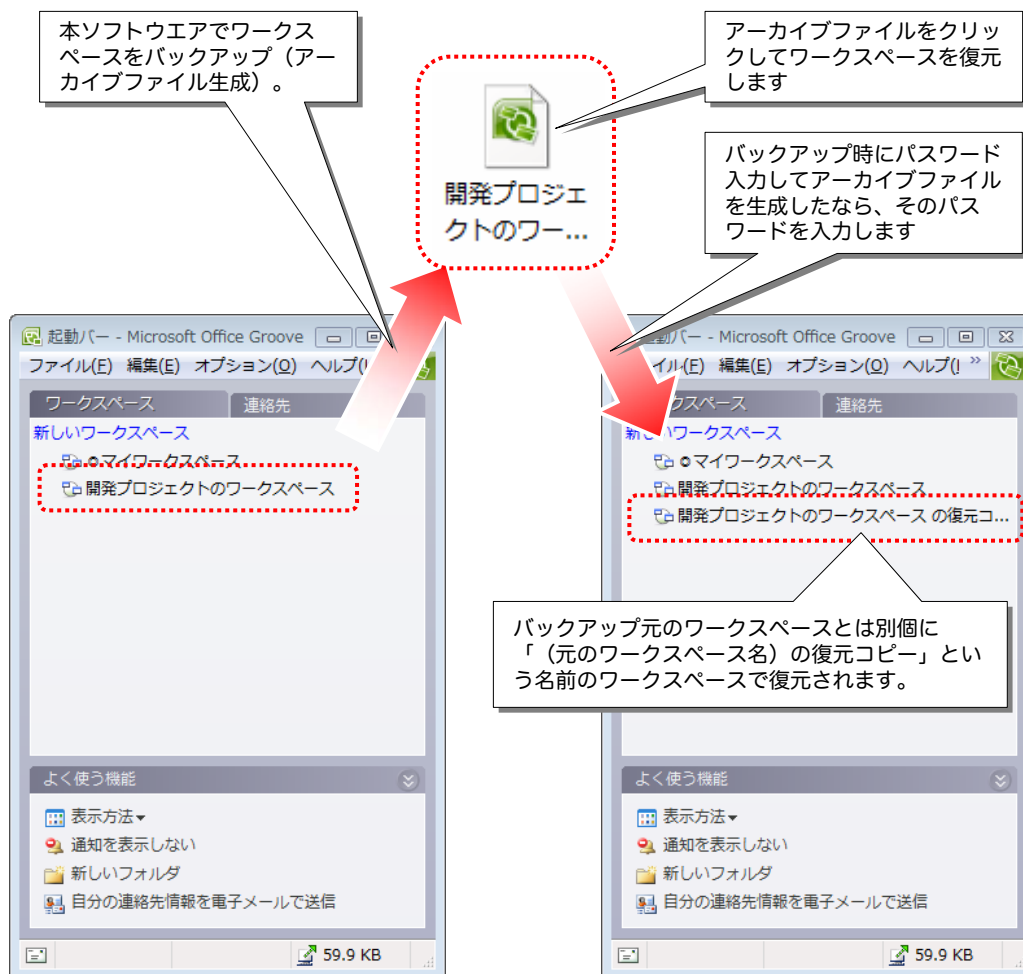
復元は、アーカイブファイルをクリックすればOKです。

「(元のワークスペース名)の復元コピー」という元のワークスペースとは別個のワークスペースで復元されます。

この時、バックアップ時にパスワードを設定したなら、パスワード入力を促されますので、そのパスワードを入力して下さい。

注意！

アーカイブからワークスペースを復元すると、復元を実行しているメンバ以外のすべてのメンバが“利用停止”と示されます。それらのメンバは必要に応じて後から再招待することができます。

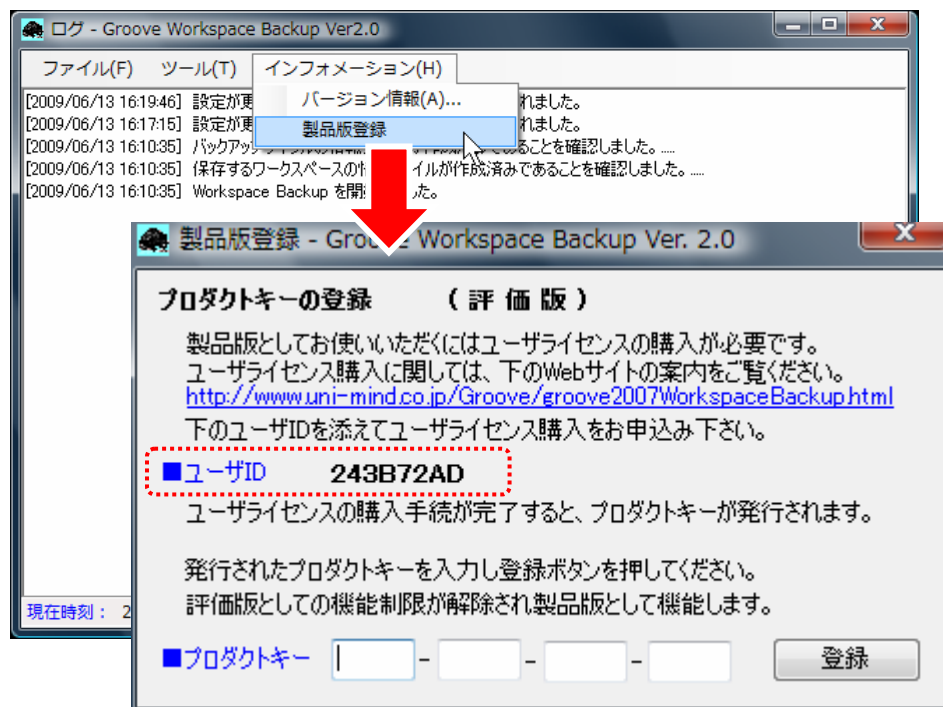


9、評価版から製品版へ移行して機能制限を解除するには

本ソフトウェアをインストールした直後は「評価版」として動作します。
評価版では、一括バックアップ設定でバックアップ可能なワークスペース数が3つまでに制限されています。
この機能制限を解除し製品版としてご利用になるには、弊社から発給するプロダクトキーの設定が必要となります。

プロダクトキーは、本ソフトウェアのユーザライセンスをご購入いただくことで入手できます。
ユーザライセンス購入申し込み時に、本ソフトウェアのインストール後、初回起動時に生成される「ユーザID」を必ずお知らせください。

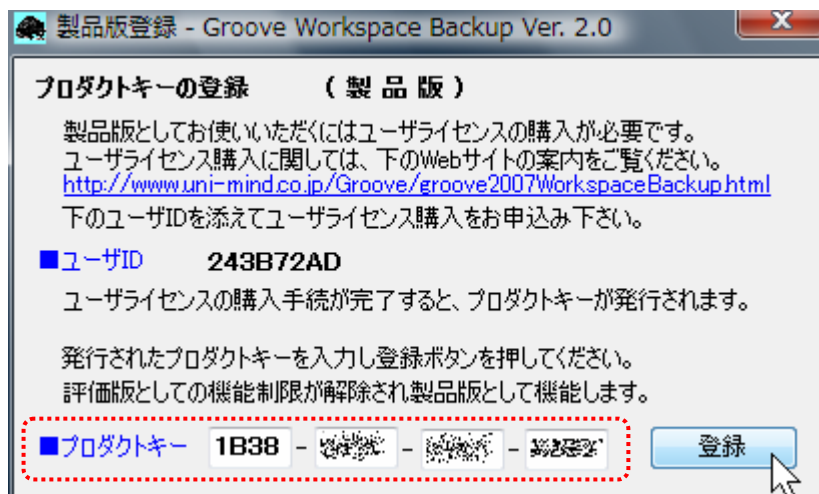
「ユーザID」は、「ログ」ウインドウの「インフォメーション」メニューの「製品版登録」を選択して表示される「製品版登録」ウインドウ内に表示されています。



ユーザIDをお知らせいただくと、弊社ではユーザIDを元に固有のプロダクトキーを生成し、発給いたします。

弊社よりプロダクトキーを受け取ったら、本ソフトウェアを起動し、「ログ」ウインドウの「インフォメーション」メニューの「製品版登録」を選択して表示される「製品版登録」ウインドウを表示させます。

「プロダクトキー」欄に、弊社より受け取ったプロダクトキー（4文字×4ユニット＝16文字）を正しく設定して「登録」ボタンをクリックします。以後、製品版としてご利用いただけるようになります。



注意！

ユーザIDは、本ソフトウェアをインストールするPC固有の値として自動生成されます。
弊社より発給されるプロダクトキーは、お知らせいただいたユーザIDを元に生成しますので、本ソフトを利用するPCを変更した場合には、新たなプロダクトキーのお申込みが必要となります。
なお、本ソフトウェアは、ユーザライセンスですが、同一ユーザであっても、異なる複数のPCでの同時利用は、使用許諾契約違反となりますのでご注意ください。

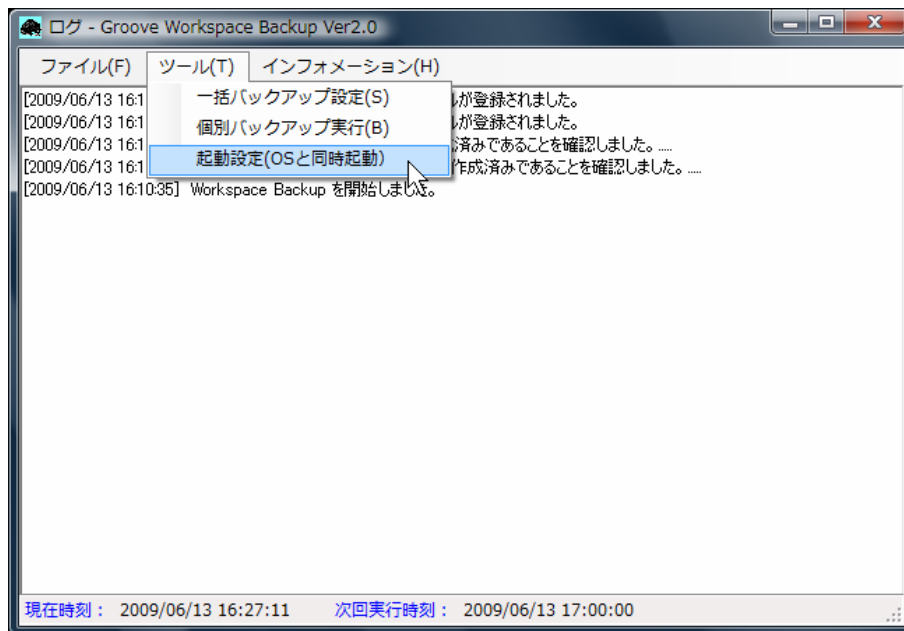
注意！

プロダクトキーが正しく設定されると、「製品版登録」ウインドウの「（評価版）」という文字列が「（製品版）」へ変更されます。
以後、「一括バックアップ設定」でバックアップ可能なワークスペース数の制限が解除されます。


10、Windows起動と共に自動起動するには

本ソフトウェアで一括バックアップ設定を施し、Windows起動時に本ソフトウェアを自動的に起動することで、ワークスペースを常にバックアップしておくことができます。

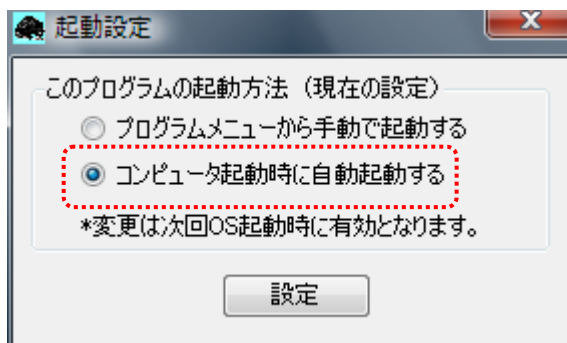
ログウィンドウの「ツール」メニューから「起動設定」を選択します。



注意！

タスクトレイの  アイコンを右クリックして表示されるメニューから「起動設定」を選択することでも「起動設定」ウィンドウを開くことができます。

「起動設定」ウィンドウが表示されます。Windows起動時に本ソフトウェアを自動起動する場合には「コンピュータ起動時に自動起動する」を選択して「設定」ボタンをクリックしてください。



注意！

常にワークスペースをバックアップしておきたい場合には、Groove 2007もWindows起動時に自動起動するように設定しておくことをお勧めします。Groove 2007の自動起動設定の手順は、次の通りです。

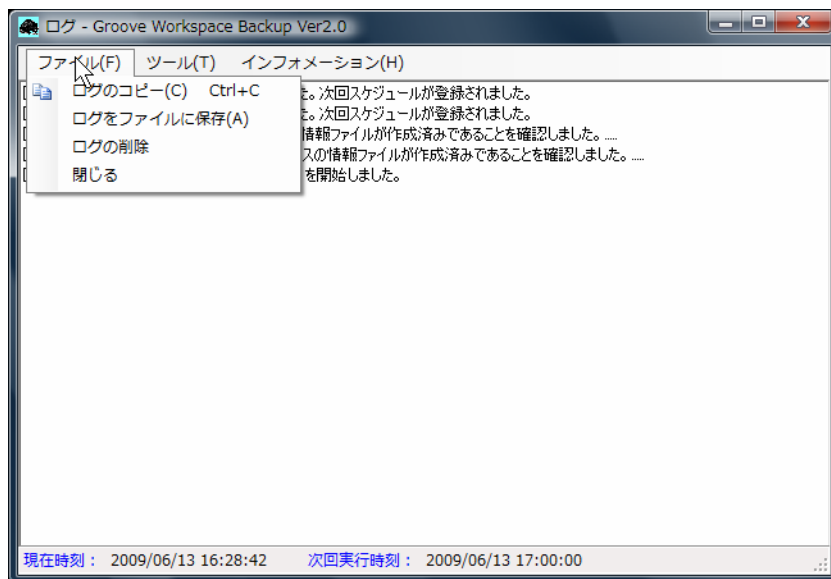
- ・ 起動バーの「オプション」メニューで「基本設定」を選択
- ・ 「基本設定」ウィンドウの「オプション」タブを選択
- ・ 「起動の設定」欄の「Windowsの起動と同時にGrooveを起動する」をチェック
- ・ 「OK」ボタンをクリック

本ソフトウェアとGroove 2007をWindows起動時に自動起動するように設定されている場合、Groove 2007より先に本ソフトウェアが起動する場合があります。Groove 2007が起動完了していない、もしくはGroove 2007にユーザがログインしていない状態で、一括バックアップ設定のスケジュールバックアップが自動実行された場合、ユーザがGroove 2007にログインするまで指定したワークスペースはバックアップされません。

11、ログの操作について

ログウインドウに記録表示される処理イベントを、コピーしたりファイルに保存してバックアップ運用管理に利用することができます。


ログウインドウの「ファイル」メニューを開くと次のような項目がリストされます。




ファイルメニューにリストされるログ操作に関する項目は次の3つです。

- ・ログのコピー
イベント表示領域に表示された総てのイベント情報を、Windowsのクリップボードにコピーします。
- ・ログをファイルに保存
イベント表示領域に表示された総てのイベント情報を、テキストファイルとして出力します。
- ・ログの削除
イベント表示領域に表示された総てのイベント情報を、削除します。
現在表示されている総てのイベントをテキストファイルとして保存することができますが、保存を行った場合、イベント表示は削除されません。

注意！

タスクトレイの  アイコンを右クリックして表示されるメニューから「メイン画面（ログ）」を選択すると、ログウインドウを開くことができます。

12、プログラムをアンインストールするには

本ソフトウェアのプログラムを削除するには、本ソフトウェアのプログラムが起動していないことを確認し（タスクトレイに  アイコンが表示されていないこと）、Windowsのコントロールパネルから「プログラムと機能」を実行します。インストールされているプログラムのリストから「Groove Workspace Backup Ver2.0」を選択し、アンインストールしてください。



注意！

これ以外の方法でのプログラム削除は、お勧めしません。必ずここで説明する方法にて作業して下さい。

◆ 本ソフトウェアをバージョンアップする際のお願い

本ソフトウェアのプログラムをバージョンアップする際には、上の手順にてプログラムを削除した後、新しいバージョンのインストーラにて再インストールして下さい（既存のプログラムをアンインストールせず新しいバージョンのプログラムをインストールしようとするとエラーとなります）。

この際、「一括バックアップ設定」「起動設定」「製品版登録」の各ウィンドウの設定内容がクリアされます。

製品版としてご利用いただいていた場合、新たなプロダクトキーの入手とプログラムへの登録が必要になります。「製品版登録」ウィンドウで表示された「ユーザID」をお知らせいただき、新しいプロダクトキーの発行を弊社までご依頼下さい。新しいプロダクトキーを設定し、一括バックアップ設定、起動設定を再度施し、ご利用いただけますようお願い致します。新しいプロダクトキーの入手と設定については「8、評価版から製品版へ移行して機能制限を解除するには」を参照して下さい。

本プログラムに関するご質問、お問合せは...

株式会社ユニマインド・テクノロジー

〒192-0911東京都八王子市打越町1300-93

Phone 042-632-1520 / Fax 042-632-1521

sales@uni-mind.co.jp <http://www.uni-mind.co.jp/>